

施工上の注意事項

- ①主材は重量の重い特殊原料を配合しているため、必ず使用直前(各工程)に3分以上攪拌機(低速回転)で攪拌して下さい。攪拌が十分でない場合、塗料の効果が低下する可能性があります。
- ②下地調整の工程は塗装工事における責任範囲には含まれません。
- ③気温5°C以下、湿度85%以上の場合は施工を避けて下さい。
- ④降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。
また作業後に、降雨、降雪の恐れがある場合は雨(雪)養生をして下さい。
なお夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は午後からの作業を中断して下さい。
- ⑤施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水の影響で色むら、泡等が発生する場合があります。
- ⑥高湿、夜露、朝露、結露、スコール等の懸念がある場合は、日の高いうちに作業を終え、
日没までに十分に乾燥をして下さい。乾燥が十分でない場合、垂れ、むら、剥離等を引き起こす
原因となりますので注意して施工して下さい。
- ⑦常に結露が発生する地域および時期での施工は避けて下さい。
- ⑧主材を一度に厚塗りしますと塗膜の割れが発生することがありますので、ご注意下さい。
- ⑨一度凍結すると使えなくなります。冬季の管理・輸送にはご注意下さい。
- ⑩材料は0~40°Cの直射日光の当たらない屋内に保管下さい。
(施工時には材料の保管所を確保下さい。万一確保できない場合はシート等を被せ保管条件をお守りください。)

安全衛生上の注意事項

1. 取扱い上の注意

- (1)取り扱いはできるだけ皮膚に触れないように、必要に応じて保護手袋、マスク、保護メガネ等を着用して下さい。
- (2)取り扱い後は、手洗い、うがいを十分に行って下さい。
- (3)塗装、乾燥等を行う作業場所では、換気装置を設け、作業中および作業後も十分換気を行って下さい。
- (4)本来の用途以外に使用しないで下さい。

2. 緊急時および応急処置

- (1)目に入った場合は直ちに大量の清水で洗い流し、速やかに医師の診断を受けて下さい。
- (2)皮膚に付着した場合は石鹼を使い洗い流して下さい。必要があれば医師の診断を受けて下さい。
- (3)誤って飲み込んだ場合は大量の清水を飲み、吐き出した後速やかに医師の診断を受けて下さい。
- (4)ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合はしばらく安静にするか、医師の診断を受けて下さい。

3. 貯蔵上の注意

- (1)気温が0°C~40°Cの直射日光の当たらない屋内に保管して下さい。
- (2)中身が漏出した場合は乾燥した砂等を散布した後回収するか、ウエス等で拭き取って下さい。
- (3)子供の手の届かないところに保管して下さい。

4. 廃棄上の注意

- (1)使用済みの容器および未使用的廃塗材等を廃棄する場合は産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- (2)本材料を廃棄する場合は地面や排水溝等に流さないで下さい。

※詳細な内容が必要な場合は製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

アドグリーンコート性能・試験内容

■性能表

試験項目	試験結果	備考
容器の中での状態	異常を認めない(かき混ぜたとき堅い塊がなく、一様になる。)	—
塗装作業性	支障を認めない	—
初期付着力	異常を認めない(クロスカット法)	JIS K 5600-5-6
耐水性	異常を認めない(23°C×7日間)	JIS K 5600-6-2
寒熱サイクル	異常を認めない(50°C×3h/-20°C×3h/20°C×8h×10サイクル)	JIS K 5600-7-4
凍結融解性	異常を認めない(-20°C×15h浸漬/20°C×8h×10サイクル)	—
促進耐候性	異常を認めない(サンシャインウェザーメーター2,000h)	JIS K 5600-7-7

■性状

試験項目	試験結果
外観	粘滑液体
主成分	特殊変性アクリル樹脂
粘度(mPa·s@30°C)	10,000~20,000 (JIS K 6833)
不揮発分	72±2 (JIS K 6833)
比重	1.48±0.2
PH	6~7
消防法の分類	非危険物

標準施工仕様

■製品案内:上塗材

製品名	荷姿	標準塗布量(kg/m²/回)	塗回数	塗布面積(1工程あたり)	内容
Adgreencoat® EX Adgreencoat® EXα	14kg/缶	EX=0.2kg/m² EXα=0.15kg/m²	2	EX=70m²/缶 EXα=93m²/缶	水系 アクリルシリコン樹脂

■製品案内:下地材

製品名	荷姿	標準塗布量(kg/m²/回)	塗回数	塗布面積(1工程あたり)	内容
アドパーミエイト (非金属用)	14kg/缶	0.1~0.17kg/m²	1	82~140m²/缶	水系 ナノ・カチオン系高浸透形エポキシ変性エマルション
アドウォール (非金属用・壁用)	16kg/缶	0.1~0.12kg/m²	1	133~160m²/缶	水系 特殊ウレタン変性アクリルエマルション
アドソリッド (石綿スレート専用)	18kg/缶	0.1~0.17kg/m²	1	105~180m²/缶	水系無機シーラー
アドマイルドコート (金属用)	16kg/缶	0.12~0.16kg/m²	1~2	100~133m²/缶	溶剤 弱溶剤エポキシ樹脂
アドプラコート (金属用・塩害対策)	15kg/缶	0.12~0.16kg/m²	1~2	93~125m²/缶	溶剤 無希釈1液エポキシ樹脂
アドアスファルトシーラー (防水層専用)	16kg/缶	0.1~0.2kg/m²	1	80~160m²/缶	溶剤 溶剤系湿気硬化型ウレタンプライマー

施工の区切り

面積が広大な施工

1. 車体目地または見切りのよい部分を利用し、その部分に沿ってテープ養生し、1スパン毎に仕上げて下さい。
2. 隣接する仕上がり面に施工しないように、逆養生または板養生を行って下さい。
3. 大面積の場合は、設計段階で十分ご確認の上施工して下さい。

設計上の注意事項

①改修下地

- 脆弱した塗膜の表面および浮き、膨れ、はがれ等をディスクサンダー、ワイヤーホイル等の動力工具およびスクリーパー、ワイヤーブラシ等の手動工具を併用して、さび、油分、付着物等を除去して下さい。
- 下地のひび割れ部等は、シーリング及び下地調整剤で補修を行って下さい。
- 粉化物、付着物等は、高圧洗浄機を使用し除去・清掃を行い、その後、下地を十分に乾燥させて下さい。
- 下地処理は旧塗膜・下地の調査を行い、劣化状況(劣化レベル)(注1)に基づいた適切な処理をして下さい。

下地調整		旧塗膜 合成樹脂 エマルジョン	合成樹脂 アクリル 樹脂	ウレタン 樹脂	塩化ビニル 樹脂	リシン	弾性 リシン	アスファルト防水 シート防水	吹付 タイル	単層弾性	スタッコ	合成樹脂 混合ペイント	塗装・アクリル 樹脂エマルジョン	塗化ゴム 樹脂	アクリル アルキド樹脂	石綿 スレート	
下地 処理	劣化度-1	高圧水洗(アクリルスタッコ等で必要であれば凸部サンダー)														備考	
	劣化度-2	[必要な時はケレン後]+高圧水洗+補修(アクリルスタッコ等で必要であれば凸部サンダー)															
	劣化度-3	[状況に応じて全面剥離処理もしくは部分ケレン後]+高圧水洗+補修															
下地 調整材	アドバーミエイト 水系シーラー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-
	アドウォール 水系シーラー	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	-	-	-
	アドブロコート 中強溶剤系プライマー	○	○	○	○	△	△	△	○	△	○	△	○	○	-	(注2)	
	アドマイルドコート 弱溶剤系プライマー	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	-	(注2)	
	アドアスファルト シーラー(溶剤)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	(注3)	
	アドソリッド 水系シーラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	(注4)		
改修下地		一般名と処置	シーラーの 吸い込み やすさ	下地調整材						備考							
				アド バーミエイト	アドウォール	アドブロコート	アド マイルドコート	アドアスファルト シーラー(注3)	アドソリッド								
非 金 屬 系	ケイ酸カルシウム板	ケイカル板、天井ボード	大	○	○	-	-	○	-	密度0.8以上(注5)							
	フレキシブルコンクリート部材	PC板	小	○	○	-	-	○	○	-							
	コンクリートブロック		小	○	○	-	-	○	○	-							
	ALCパネル		大	○	○	-	-	○	○	-							
	石膏ボード	天井ボード	大	○	○	-	-	○	○	-							
	打ち放しコンクリート	RC、SRC	中	○	○	-	-	○	○	-							
	セメントモルタル	RC、SRC	中	○	○	-	-	○	○	-							
	スレート	フレキシブル板	中	○	○	-	-	○	○	-							
	石綿スレート	アスペクト入り板	中	△	△	-	-	-	◎	(注6)							
	窯業系サイディングボード	カラーベスト、コロニアル	小	○	○	-	-	-	-	-							
防 水	アスファルト防水	2種～3種ケレン	中	○	△	△	△	○	-	(注7)							
	塩ビシート防水	2種～3種ケレン	中	○	-	△	△	○	-	(注7)							
	ウレタン防水	2種～3種ケレン	中	○	-	△	△	○	-	(注7)							
	鉄骨	2種～3種ケレン	-	-	-	○	○	-	-	-							
金 属 系	鋼板	2種～3種ケレン	-	-	-	○	○	-	-	-							
	トタン	2種～3種ケレン	-	-	-	○	○	-	-	-							
	電気亜鉛メッキ鋼板	2種ケレン	-	-	-	○	○	-	-	-							
	ステンレス鋼板	2種ケレン	-	-	-	○	○	-	-	-							
	アルミニウム板	2種ケレン	-	-	-	○	○	-	-	-							
調合(重量比)		100(無希釈)															
標準塗布量(kg/m ² /回)			0.10～0.17	0.10～0.12	0.12～0.16	0.12～0.16	0.1～0.2	0.10～0.17	(注8)								
標準膜厚(μm/回)			-	-	32～45μm	-	-	-	-								
塗布回数			1	1	1～2	1～2	1	1	-								
塗装間隔時間(23℃)			3時間以上	3時間以上	3時間以上	3時間以上	1時間以上	2時間以上	-								
塗装方法			ハケ・ローラー・エアレス														

* 上記表中…○は適合、-は不適、△は基本的に不適 ※改修下地(非金属系、防水、金属系)の下地処理は状況に応じてケレン後高圧水洗し補修して下さい。

(注1)劣化レベル【下地処理の程度】参照

- 劣化度-1:劣化はあまり進行しておらず、塗膜がまだ丈夫であり、美観のみが指摘または要求される時期。(仕上層表面の劣化)
- 劣化度-2:劣化がかなり進行し美観的に劣る時期、また建物を保護する上で、機能性からできるだけ早く改修した方がよい時期。
- 劣化度-3:著しく劣化が進行しており、そのままでは下地へも劣化が及ぶ状態で、直ちに改修した方がよい時期。(下地を含む劣化現象)

(注2)塗布量が少ない場合、防錆性および付着性が低下しますので、必ず標準塗布量を塗布してください。

(注3)アドアスファルトシーラーは「溶剤系ウレタンシーラー」

(注4)アドソリッドは「ケイ酸マグネシウム系「水系無機シーラー」

(注5)乾式耐火被膜などは塗装できません。

(注6)石綿スレート塗装にアドソリッドを使用する場合は、アスペクト飛散防止のために高圧洗浄を行わないで下さい。尚、塗装時の法令に則り防護服、防塵マスクを着用下さい。

(注7)各防水材は2種から3種ケレンとし出来るだけ旧塗膜を除去して下さい。

(注8)必ず標準塗布量を塗装して下さい。

◆フッ素樹脂塗膜、シリコン樹脂塗膜の場合は施工できません。

◆どぶ漬け溶解亜鉛メッキ鋼板、塩化ビニル被膜鋼板は施工できません。

◆上記仕様は一般的な目安ですので、十分ご確認の上施工を行って下さい。

◆改修工事の詳細については、国土交通省改修工事ガイドブックをご覧になるか、もしくはご相談下さい。

■下地処理の程度

||
||
||